

# MLT Advan Plus

使い勝手はそのまま 対応プロトコル 大幅拡大  
既存 MLT Advance に Plus した モデル に対応



### 最大搭載プロトコル

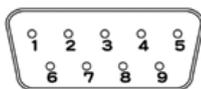
CAN FD/CAN 4ch LIN 4ch CXPI 8ch I2C 6ch  
UART 4ch SPI 4ch  
Ethernet (100Base-T1・100Base-Tx) 各2ch  
オプションモジュール ( Video Capture・ Software Ethernet ) 対応

### 製品ラインナップ

Model	CAN	LIN	I2C	CXPI	UART	SPI	ETH (HW)	販売価格
91CF4L4IC6CX4UH4E2	4	4	6	4	4	-	2	2,378,000
91CF4L4IC4CX8UH4E2	4	4	4	8	4	-	2	2,576,000
91CF2L2IC2CX2UH2SP2E2	2	2	2	2	2	2	2	1,487,000
91CF4E2	4	-	-	-	-	-	2	794,000
91CF4L2IC6CX2UH4SP2E2	4	2	6	2	4	2	2	2,180,000

### 構成

#### 100Base-T1 コネクタ



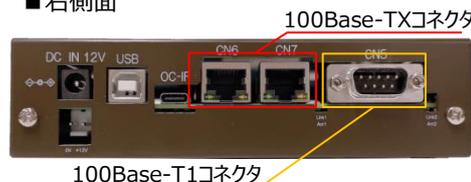
本体側 : D-Sub 9pin オス  
ケーブル側 : D-Sub 9pin メス

ピンNo.	名称
1	100Base-TX ch2 P
2	100Base-TX ch2 N
4	100Base-TX ch1 P
5	100Base-TX ch1 N

#### ■ 正面



#### ■ 右側面



#### ■ 背面



#### ■ 左側面

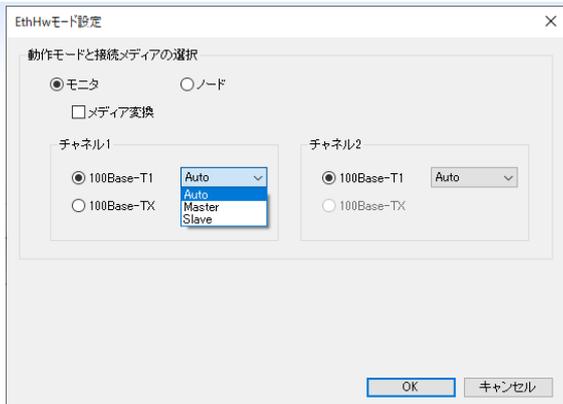


### Advan Plus 特徴

CAN FD/CAN 8Mbps (CAN SIC) 対応  
I2C設定電圧は3.3V・2.5V・1.8V (1.8Vを5.0Vへ改造可)  
から選択 (電圧はch1・2、ch3・4、ch5・6ごとに設定可能)  
マスタ・スレーブどちらも使用可能  
Ethernetはモニタモード・ノードモードに加え、100Base-TXと  
100Base-T1のメディア変換モニタモードも搭載  
100Base-T1は設定にてMaster・Slaveを選択 Autoモードを  
選択すれば自動で判別可能  
TCP(Server/Client) 設定 UDP, ICMP, ARP設定 の他、  
Ping定期送信設定・Ping応答設定・ARP応答設定 にも対応  
MLT Advance 同等機能 を搭載し、MLT Advan Navigator  
共通使用可能  
オプションモジュールの他、MPS や インターフェイスライブラリ にも対応

プロトコル	最大ch数	備考
CAN	4	Classical CAN, CAN FD (CAN SIC) 対応
LIN	4	
I2C	6	標準モード、ファーストモードに対応
CXPI	8	
URATHD	4	一線式半二重、非同期シリアル回線
SPI	4	
JTAG	1	ターゲット機器により要カスタマイズ
Ethernet	2	100Base-T1 (BroadR-Reach) 100Base-TX 両対応

# Ethernet設定



100Base-T1は設定にてMaster・Slaveを選択  
Autoモードを選択すれば自動で判別可能  
100Base-T1と100Base-TXのメディア変換機能搭載



TCP(Server/Client) 設定  
UDP, ICMP, ARP設定 のほか  
Ping定期送信設定  
Ping応答設定  
ARP応答設定 にも対応

## Ethernet モード設定

Navigatorの設定にて下記の組み合わせをご使用いただけます。

プロトコル	モード	送信	100Base-T1	100Base-TX
100Base-T1	モニターモード	-	ch1	ch2
100Base-TX	モニターモード	-	ch1	ch2
100Base-T1 100Base-TX	メディア変換 モニターモード	-	ch1	ch2
100Base-T1	ノードモード	○	ch1	ch2
100Base-TX	ノードモード	○	ch1	ch2
100Base-T1 100Base-TX	ノードモード	○	ch1	ch2